



Capital（資本）の語源は？ | 金融・経済の英単語



Capital（キャピタル）と聞くと、「資本」や「首都」が思い出されるのではないでしょうか。「譲渡益」を意味するキャピタルゲイン（capital gain）という言葉も、よく耳にしますね。

capital の語源は、ラテン語 capus

（頭）にさかのぼります。この単語は第3格変の語で、主格以外の形がみな capit- という変化形だったため、形容詞が capital になりました。

日本語の「頭金」の発想と同じで「最初のお金」ということから「資本」の意味が、「頭=主位にくる町」となり、「首都」の意味ができたのでしょうか。capital に「～化する」の語尾 ize (ise) がつくと、capitalize（資本化する、投資する）になります。

capital には「大文字」の意味もありますから、capitalize

には「大文字で書く」という意味もあります。会計用語で「過小資本税制」（金利費用の損金算入に制限が課されること）がありますが、これは「thin capitalization」と言います。

帽子の cap がこの capital に関係があるので、と思われた方は大正解です。cap は古い時代にフランス語を経由して英語になりました。入れ物のフタや出版社の編集長を「キャップ」といますが、もちろん同じ単語です。

団体のボスという意味では

captain（キャプテン）もそうです。軍隊では「陸軍大尉」、「海軍大佐」も captain ですし、corporal（伍長）も同じ語源です。

婦人服の「ケープ」や「岬」を意味する cape

も同じく元は「頭」の意味から発展したものです。南アフリカの Cape Town（ケープタウン）は「岬町」だったのですね。

米国の国会議事堂を the Capitol

といいます。この言葉は古代ローマの7つの丘のひとつ、ジュピターの神殿があったカピトリーノの丘 the Capitoline Hill の名前から来ています。

ところで「牛」の総称を cattle と言いますが、これも実は capital

と大いに関係があります。語形は中世の北フランス語で、牛は財産であり、富であったのです。

経済用語で「動産、家財」を chattel と言いますが、「牛」と家族の言葉なのです。

文：猪浦道夫・天宮徹也（共同執筆）／編集：M&A Online編集部